

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公表番号】特表 2003-523414(P2003-523414A)
 【公表日】平成 15 年 8 月 5 日 (2003.8.5)
 【出願番号】特願 2000-608683(P2000-608683)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/02

C 0 8 J 5/00 C F D

C 0 8 L 67/02

C 0 8 L 77:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 9 日 (2007.2.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマー及び、溶融状態にある該 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーからのアクロレインの放出を減少させるために有効な量の、溶融安定な有機窒素含有の安定化ポリマー、から実質的に成ることを特徴とする繊維又はフィルム製造用組成物。

【請求項 2】 請求項 1 の組成物を使用して 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーから繊維を製造する方法であって、

a) 溶融状態にある 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーを、溶融状態にある該 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーからのアクロレインの放出を減少させるために有効な量の、溶融状態にある溶融安定な有機窒素含有の安定化ポリマーと接触させ、

b) 該 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーを紡糸して繊維を得る、
ことを特徴とする方法。

【請求項 3】 該安定化ポリマーの有効量が該 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーの重量に基づいて 0.01 ~ 10 重量%であり、該 3 - ヒドロキシプロパノキシ末端ポリマーが 1,3 - プロパンジオールジカルボキシレートポリマーである、前記請求項のいずれかに記載の組成物又は方法。

【請求項 4】 ポリ(トリメチレンテレフタレート)又はそのコポリマーから繊維を製造する方法であって、

a) 該ポリ(トリメチレンテレフタレート)ポリマー又はコポリマーから成るポリマーの溶融ブレンド(i)を用意し、また、該ポリ(トリメチレンテレフタレート)ポリマー又はコポリマーの重量に基づいて約 0.01 ~ 10 重量%の、該ポリ(トリメチレンテレフタレート)ポリマー又はコポリマーからのアクロレインの放出を減少させるための、溶融状態にある溶融安定なポリアミン又はポリアミド安定化ポリマー(i i)を用意し、(i)及び(i i)から請求項 1 の組成物をつくり、

b) 該組成物を紡糸して繊維を得る、
ことを特徴とする方法。

【請求項 5】 溶融安定な有機窒素含有の安定化ポリマーが、アミン又はアミドをポリマー側鎖としてか又はポリマーの主鎖中に含むポリマーから成る群から選択される、前記請求項のいずれかに記載の組成物又は方法。

【請求項 6】 溶融安定な有機窒素含有の安定化ポリマーが、ナイロン 6、ナイロン 4, 6、ナイロン 6, 6、ナイロン 6, 10、ナイロン 6, 12、ナイロン 12, 12 又はそれらのコポリマー及びブレンドから成る群から選択される、請求項 4 に記載の組成物又は方法。